

学年	高校 3 年	教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	3
教科書名		詳説 世界史探究（山川出版）		副教材名	アカデミア世界史（浜島書店） 世界史用語集改訂版（山川出版）		
コース・クラス		中高一貫理系					

I. 目標

1. 大学入学共通テストや難関私立大学の入試問題に対応できる実力を身につける。
2. 歴史的思考力を培った多角的な視点を持ち、国民としての自覚と国際社会に生きる日本人としての資質を養う。
3. 単位数が少なくても演習を優先することで効果的に実践力を構築する。

II. 授業のねらい

1. 生徒個々の進路目標に対応した問題演習を行い、大学入学共通テストや難関私大入試に対応できる学力を目指す。
2. 現代におこる種々の出来事に歴史的背景があることを理解させ、歴史的事象を多面的・多角的に捉える力を養う。
3. 世界の歴史における複合性や関連性を理解させ、歴史に対する理解を深めるとともに、進路実現に努力する。

III. 授業の進め方

1. シラバス通りの授業を展開する。
2. 模試演習、過去問演習を優先的に実施し、入試問題に対応する。
3. 各自が意識をもって既習範囲を繰り返し復習することで確実な解答力を身につけるよう指導する。
4. 地図や図表を駆使し、学習の理解と定着に必要な映像等も活用する。

IV. 学習上の留意点

1. 用語の暗記だけでなく、種々の事象を体系的に定着させ、総合的に判断できるようにすること。
2. 板書の書き写しだけでなく、口頭での説明も積極的にメモを取り、授業担当者への質問・確認をすること。
3. 入試問題を常に念頭に置き、少ない情報でも確実な消去法のやり方を実践すること。

V. 定期試験

- 1学期 中間試験：第5章 イスラーム世界の成立～第10章 アジアの諸帝国の繁栄
- 1学期 期末試験：第11章 近世ヨーロッパ世界の動向～第14章 アジア諸国の動揺
- 2学期 中間試験：実施せず。
- 2学期 期末試験：第15章 帝国主義とアジアの民族運動～第19章 冷戦の終結と今日の世界

VI. 評価の方法

各定期試験の点数、小テストの点数、課題及び提出状況

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	イスラーム世界の成立 ヨーロッパへの大遠征 ヨーロッパ世界の変容	小テスト 中間試験	・イスラームの各王朝、地域ごとの変遷を理解し、ムスリム商人の経済活動とヨーロッパより先にアフリカを開拓した力を確認する。
	5	東アジア世界の展開とモンゴル帝国の興隆 大交易・大交流の時代 アジア諸帝国の繁栄 近世ヨーロッパ世界の動向		・イスラーム文化がヨーロッパに与えた影響を確認。 ・モンゴル帝国が与えた影響力がアジア全体に及び、ヨーロッパにも与えた影響を文化的側面から理解する。オスマン・ムガル帝国の存在を理解する。 ・アジアとヨーロッパの交易と文化の交流を理解する。
	6	科学革命と啓蒙思想 産業革命と環大西洋革命 イギリスの優位とウィーン体制 アジア諸国の植民地体制の構築		・十字軍の遠征を通じたルネサンスの考察 ・宗教改革と主権国家体制の確立を教会至上主義の側面から考察。 ・科学の発達と啓蒙思想の発達を近代化として考察。 ・産業革命がアメリカにどのような影響を与えたか。
	7	アジア諸国の民族運動から独立運動への変遷	期末試験	・ヨーロッパでの政治革命と中南米の独立を考察。 ・ウィーン体制に至るまでのヨーロッパの動乱を確認 ・ウィーン体制以降のヨーロッパの力による再編成 ・アジアの植民地化と列強の思惑を理解
二学期	9	第一次世界大戦と世界の変容 ロシア革命とその影響 アジア・アフリカの民族運動 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 国際連合の誕生	小テスト 期末テスト	・第一次世界大戦の与えたナショナリズムを確認。 ・大戦後のヴェルサイユ体制がどのように変貌したかを考察 国際連盟と国際連合の相違を理解する。 ・敗戦国ドイツの賭けから始まった第二次世界大戦 ・世界恐慌が誘発した第二次世界大戦 ・近代戦争の新たな局面と戦争後を考察する。
	10	冷戦と第三世界の台頭 冷戦の終結と今日の世界		・米ソ冷戦の誕生 東西ドイツと南北朝鮮を考察 ・第三世界の台頭とキューバ危機の持つ意味。 ・アジア・アフリカでの米ソの代理戦争を考察。
	11	現代文明の諸相		・冷戦の終結とヨーロッパの再編 ・産業構造の変容（産軍複合体と技術開発） ・今日の世界 大国の論理とテロリズムを考察 ・中東戦争のもたらした影響。
	12			・現代文明の新たな形と価値観を考察。

※ シラバスの内容・進度については状況に応じて変動が生じる。